

# 春風秋霜 3月号

平成30年3月1日  
島田市教育委員会だより  
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

今年度も残り少なくなりました。各校とも卒業式や進級・進学に係る準備が忙しいと思います。平成29年度を振り返ると、各学校では大小様々な出来事があったと思います。しかし、どの学校も組織的な素早い対応により、事態の深刻化を防いでいたと思います。ありがとうございます。

## 1 平成29年度末人事について

3月は人事異動の時期です。今年度の人事異動の特徴は、小学校に欠員が大変多い一方で、中学校（特に数学）は過員でしたので、校種変更や特別支援学級担任への異動をお願いせざるを得ませんでした。毎年のことながら、過員や欠員の状況により、希望しない異動をお願いしなくてはならないことにご理解をお願いします。

異動すると様々な変化に対応しなくてはなりません。異動先の学校には、その学校の伝統や文化があるからです。しかし、子供を中心に考えるということは変わりません。また、島田市が大切にしてきた「個に焦点を当てた教育」や「夢育・地育」の方向は正しいと思っています。これまでの勤務校で培ったものを、異動先の学校でも発揮することを願っています。

私も、校種変更や身分切り替えを伴う異動を経験してきました。その度に苦勞もしたし、時には転職してしまったかと思うこともありました。しかし、与えられた場所(学校や分掌)で全力を尽くせば、結果として自分の新しい一面が伸びたり、ネットワークが広がったりすることにも繋がったと思います。異動をスキルアップに繋げるよう皆さんの活躍を期待しています。

## 2 子どもはみんなリバーシブル

子育てアドバイザーの河村都さんは、「テレビ寺子屋」(2月11日テレビ静岡放送)において、子供の自立心を育てるためには、「他の子と比べない」「重い荷物(期待・要望)を背負わせない」「子供はみんなリバーシブル」が大切と言っています。前の二つは、よく聞くことです。しかし、最後の内容は、教員でも陥りやすい内容です。

「子供はみんなリバーシブル」とは、子供には表と裏の顔があるということです。大人は、子供を「落ち着きのない子」「素直な子」「消極的な子」などと決め付けることがあります。しかし、子供は、裏表の二面だけでなく多面的な顔を持っています。置かれている環境によっても違う面を見せます。「落ち着きのない子」でも、得意とすることには集中して取り組むことがあります。また、落ち着きは無いけれど、色々なことに「挑戦する子」かもしれません。

子供の見方を固定化すると、見えるものも見えなくなってしまいます。違う顔を探してみようと意図的に係わると、新しい顔が見えてくることがあります。「人は思い込みをしやすい」と自覚することが大切だと思います。

## 3 学校だよりを読んで

教育委員会に送られてきた学校便り12月号には、小学校音楽発表会の記事がたくさんありました。どの学校も子供たちの頑張りをしっかり価値付けており、子供たちの今後の頑張りに繋がるなと思いました。

その中で、特に目を引いたのは、講師を務めた池谷課長



のコメント（評価）を取り上げた学校の記事です。課長の評価は専門的ながら、大変具体的で、その評価を聞いた子供たちは、きっと自分たちの努力の成果である演奏に自信を持ったことでしょう。身近ではない人からの賞賛は、身近な人からのそれより感動的な場合があります。子供たちの心に届くほめ方を心得た記事だと思いました。

○ 池谷学校教育課長のコメント

A小学校

イントロのピアノはため息が出るほど美しく、続く歌声を待ちこがれました。期待通りの細やかな心配りが感じられる優しい演奏でした。そんな優しい演奏なのに、ヤマ場へのクレッシェンドといい、途中の強弱といい、腹筋を使っのメリハリといい、とてもレベルの高い演奏に仕上がりました。（2曲目）

B小学校

これだけの人数なのに、ほんの数人？と思わせる程、音質のそろった美しい歌い出しでした。それに続く迫力のある f（フォルテ）には、会場が圧倒されました。アの母音が柔らかくてうっとりする程美しく響きました。エも無理なく出せて感心しました。

#### 4 総合教育会議を終えて

1月31日（水）に第3回総合教育会議が開催されました。4年前に作成した「島田市教育大綱」を見直すために協議し、一部を修正しました。その中で、「市民総がかり」も議論され、市内の自治会主催の寺子屋事業など、自治会や地区コミュニティー委員会主催の子供支援が、最近、活発になっていることが話題になりました。

教育委員の中から、このような活動により子供も成長するけれど、支援する大人も学ぶことが多いという話が出されました。教職員も地域住民です。地域のイベントに我が子を連れて行ったり、自らが支援の輪に飛び込んだりして欲しいと思います。特に、地区役員が回ってきたら、積極的に引き受け、役員の立場で子供支援の発信をしていただきたいと思います。

## 肘かけ椅子

牧野 高彦 教育委員

### 「今年の夏休みは『接近』を楽しもう」

皆さんは、夜空を見上げることがありますか？満月に近い日、五円玉を手に持ち、腕を伸ばします。五円玉の穴と並べた月と見た目で大きいのはどちらでしょう？月は意外と小さい。

接近1：15年ぶりに「火星」が地球に大接近します。7月31日です。前後一週間は望遠鏡で極冠が白く見えます。運河のような模様も。やぎ座を探すと見つかります。

接近2：夏休み中の南の夜空では、やぎ座に「火星」、いて座に「土星」、さそり座に「アンタレス」、てんびん座に「木星」が勢揃いします。豪華でしょう。色や明るさが比較できます。

接近3：お盆の8月13日前後、近年最良のペルセウス座流星群、夜明け前早起きして1時間に10から40個の流れ星は圧巻。スイフトタックル彗星の「ちり」に地球が接近です。

接近4：就寝前、いったんテレビを消して、家族で外に出てみませんか。みんなで夜空を眺めて家族同士が大接近。島田市内でも条件がそろえば楽しめます。カレンダーに「夜空」と書いて。